

公益財団法人日本美術刀剣保存協会 令和7（二〇二五）年度事業報告及び決算報告

I 事業の実施状況

1. 博物館事業

(1) 展示事業

令和7年度刀剣博物館の展示活動及び入館者数は27ページ表1の通りです。博物館においては、定款に定める日本国の文化財の保護と伝統文化の普及振興に寄与する目的を持続的に遂行するため、展示毎に来館者へアンケートを実施する等広く意見を聞き入れるとともに効果を測り、文化及び芸術の振興を図る魅力のある展示を実施しました。

(2) 鑑賞会事業

定例鑑賞会は8月及び12月を除く毎月第2土曜日の午後11時に刀剣博物館講堂において開催し、開催日平均55名の出席がありました。また、定例鑑賞会にあわせて、平成24年9月から刀剣を手にとって鑑賞したことのない初心者の方向けの刀剣の扱い方、鑑賞の方法を学ぶための「日本刀鑑賞マナー講座」を予約制で開催、修了した方には修了証を発行し、令和7年度は138名の参加者がありました。なお、定例鑑賞会、日本刀鑑賞マナー講座開催にあたっては広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで周知し広く参加を受付しました。

その他協力団体が公益事業として開催する鑑賞会に、依頼により鑑定刀の貸与及び講師（当協会学芸員）の派遣を行いました。令和7年度は79件の依頼があり、刀剣類5点を貸与し、鑑賞の指導を講師が行いました。協力団体開催の鑑賞会の出席者は平均22名でした。

(3) 作品発表会（現代刀職展）

2025年度現代刀職展（旧新作名刀展及び旧刀剣研磨・外装技術発表会）を開催しました。この展示は、現代作家の作品発表の場の提供及び多くの方に技倆の高さをアピールすることを目的としており、令和7年8月2日（土）から10月13日（月・祝）までの開催期間で、12、188名のお客様にご来場いただきました。

(4) 古伝書等の公開

当協会収蔵の古伝書、一般刀剣関係書籍等を月曜日から金曜日の10時から16時（12時から13時を除く）まで事前予約制で一般の利用に供しました。入室、閲覧は無料とし、コピーサービス（有料）も提供しました。令和7年度は30件の利用がありました。

(5) 刀剣相談

当協会に来館、または書面、電話での刀剣等に関するあらゆる相談を受け付け、刀剣類の文化財としての位置づけを認識していただくとともに、刀剣類の手入れ方法や保存方法についても助言いたしました。また銃砲刀剣類所持等取締法に基づく所轄警察署への届出等、関係法令の周知徹底を図り、各都道府県教育委員会への登録申請の相談も受け登録業務に協力いたしました。

(6) 広報誌の発行

令和7年度は広報誌『刀剣美術』を819号から830号まで発行いたしました。当協会の編集委員及び編集担当職員が毎月編集委員会を開催して内容を検討し、投稿された刀剣関係の論文、随想、資料紹介等の掲載のほか、鑑賞会の報告及び当協会や刀剣界の情報発信源として、また刀剣類の知識の向上を目的として会員の皆様への配布のみならず、刀剣博物館においても一般に販売いたしました。

(7) ホームページ活用

広報誌『刀剣美術』とともに、当協会や刀剣界の情報発信源として活用しているほか、刀剣の知識が学べるコンテンツを掲載しています。また、広報誌『刀剣美術』の一部記事を英訳してホームページから見ることができるようになり、海外の研究者、愛刀家等の要望にも応えています。引き続き会員の皆様をはじめとしたお客様に分かりやすい情報発信に努め、お客様とのコミュニケーションツールとして運用してまいります。

2. 教育、講習事業

(1) 刀職技能訓練講習会

刀職者の技能向上とその普及を目的として、主として西日本エリアを対

象として行っているこの講習会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、令和7年度で39回を数え、備前長船刀剣博物館において令和7年6月25日(水)から28日(土)の4日間開催いたしました。講習部門は「柄下地の部」と「刀装金具の部」の2部門で、「柄下地の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により「柄下地の基礎技法」を講習テーマとして実施し、受講者は2名でした。「刀装金具の部」は彫金師の無鑑査認定者の講師により「透鐔の制作」を講習テーマとして実施し、受講者は7名でした。また、受講生には受講証書を授与いたしました。

(2) 第58回刀剣研磨・外装技術研修会並びに第52回鍛冶研ぎ研修会

刀職者の技術の向上とその普及を目的とするこの研修会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、当協会講堂において令和7年7月21日(月)から26日(土)までの6日間開催いたしました。

研修部門は「研磨の部」「鍛冶研ぎの部」(前半3日間)及び外装の部として「白鞘の部」「柄前の部」「白銀の部」(後半3日間)であり、「研磨の部」は研師の無鑑査認定者の講師により、「仕上げ研ぎ」を研修テーマとして実施し、聴講生13名の参加がありました。「鍛冶研ぎの部」は刀匠の無鑑査認定者の講師により、「鍛冶研ぎの基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生1名、聴講生3名の参加がありました。「白鞘の部」は鞘師の講師により、「掻き入れの基礎技法」を研修テーマとして実施し、特別研修生1名、研修生1名、聴講生5名の参加がありました。「柄前の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により、「常糸巻・蛇腹巻の基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生3名、聴講生1名の参加がありました。「白銀の部」は鐙師の無鑑査認定者の講師により、「鐙制作の基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生3名、聴講生5名の参加がありました。特別研修生、研修生、聴講生にはそれぞれ特別研修証書、研修証書、聴講証書を授与いたしました。

(3) 第43回作刀技術実地研修会

この研修会は、文化庁の作刀承認を得ること及び若手刀匠の技術向上を目的として、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、令和7年9月24日(水)から27日(土)の4日間、島根県の日刀保日本刀鍛錬道場において開催しました。

本研修会は3年で修了となるカリキュラムで行っていますが、今回は第

15期の2年目にあたり「素延・火造」をテーマとして刀匠の無鑑査認定者の講師により実施し、特別研修生1名、研修生3名、聴講生7名の参加がありました。この研修では近年のサブテーマである「各種玉鋼の効果的用法」の研修も行いました。また、受講生には受講証書を授与いたしました。

3. コンクール事業

(1) 2025年度現代刀職展

現代作家の技術の向上及び普及を目的に、新作名刀展及び刀剣研磨・外装技術発表会を改組、新たに現代刀職展とした作刀の部、刀身彫の部、彫金の部、研磨の部及び外装の部として白鞘の部、刀装の部、柄前の部、白銀の部の8部門について広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで公募し、作刀の部は令和7年4月1日(火)から3日(木)の間受け付け、令和7年4月10日(木)に審査会を開催し、また、研磨の部、刀身彫の部、彫金の部、白鞘の部、刀装の部、柄前の部及び白銀の部は令和7年6月2日(月)から4日(水)の間受け付けし、令和7年6月12日(木)及び13日(金)に審査会を開催しました。無鑑査による出品は、作刀の部8点、研磨の部9点、彫金の部1点、柄前の部1点、白銀の部1点の合計20点でした。

令和7年8月1日(金)午後1時30分から第一ホテル両国5階清澄において表彰式を執り行い、入賞者に賞金、賞状及び副賞をそれぞれ授与しました。また、各部門について審査員の代表が審査員講評を行いました。

展示は、令和7年8月2日(土)から10月13日(月・祝)まで刀剣博物館にて行いました。

全部門の受付点数、審査結果は27ページ表2の通りです。

4. 検定・資料収集事業

(1) 刀剣類の保存・特別保存審査

4月、7月、10月と1月を除き、毎月保存・特別保存刀剣等の審査を実施し、刀剣は6月からの3か月毎に、刀装・刀装具は5月からの3か月毎に該当月の指定した3日間受け付けました。受付点数に応じて審査会を複数回設け、審査は理事会の決議を経て会長が指名または委嘱した

審査員により、審査規程に則り厳正に審査を行い、合格したものには鑑定書を発行しました。

なお、今年度の受付点数、合格点数は次のとおりです。

区 分		受付点数	合格点数
保 存	刀 剣	5, 838	3, 977
	刀 装	317	186
	刀 装具	2, 738	1, 672
特別保存	刀 剣	2, 956	1, 873
	刀 装	156	68
	刀 装具	924	681

(2) 刀剣類の重要・特別重要審査

第71回重要刀剣等審査は10月1日(水)から3日(金)の3日間で開催しました。審査は理事会の議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第1次及び第2次審査を行いました。また、指定品の展示は令和8年1月10日(土)から3月1日(日)まで刀剣博物館において行いました。指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を現在作成中です。

なお、受付点数、合格点数は次のとおりです。

区 分	受付点数	合格点数
第71回重要	刀 剣	569
	刀 装	33
	刀 装具	196

なお、審査規程・審査基準は当協会ホームページ等に掲載し公平性・透明性を確保しております。

(3) 資料収集

保存・特別保存・重要・特別重要各審査の合格物件すべての調書を作成し、写真もしくは押形とともに保管し、データベースで管理しました。また過去の合格物件も順次データ化を進めております。また、全国の重要文化財等を所蔵する施設に職員を派遣し、刀剣押形等の貴重な資料の収集を行い、収集した資料を広報誌『刀剣美術』にて公開しました。

5. 資格付与事業

(1) 無鑑査の選任

3月末日現在、無鑑査認定者は作刀の部が16名、彫金の部が1名、研磨の部が16名、外装の部が10名です。

(2) 伝位授与

伝位審議会を6月、9月、12月及び3月の4回開催し、初伝位1名、中伝位1名の合計2名の合格を認めるとともに、理事会等の決定により、それぞれ伝位証書を授与しました。

(3) 刀剣等指導員・刀剣等指導補助員登録

刀剣等指導員登録の申請が1名より提出され、刀剣等指導員規程第2条の資格を有しているため証明書が発行されました。刀剣等指導員の資格要件に中伝位以上を授与された者と規定されていることから、伝位授与と連動して刀剣文化の普及に活躍する人材を育てることを目的としています。

なお、今年度刀剣等指導補助員の申請はありませんでした。

6. たたら製鉄事業

たたら操業を令和8年1月21日(水)から2月7日(土)まで3代実施しました。これに先立ち、操業開始前の準備として数日前より釜土の混練や本床への火入れ等を行いました。炉床の状態を整え、本操業に臨み、伝統技術の保存・伝承に努めました。

操業自体は下準備から始まり、釜作り・3昼夜操業・釜壊しを1単位つまり1代と数え、釜作り以降の作業を行い、約25トンの鉾を生産しました。火入れ式では島根県丸山達也知事からお言葉を頂戴し、また砂鉄挿入を行っていただきました。

2代には、彬子女王殿下の御成を賜り、お手ずから砂鉄を装入され、釜崩し鉾出しをご視察されました。

また操業終了後は、生産された鉾を破碎し翌年度以降の玉鋼配布準備のため等級毎に選別する作業を行いました。

操業期間外では、日刀保たたら村下の指導のもと、ほぼ通年で以下の作業を行っています。①たたら炭の生産(約36トン)、②粘土の選別と確保、

③注文に应じての玉鋼発送作業、④その他適宜発生する業務。さらに、生産された玉鋼について全国の刀匠に頒布の文書を郵送しました。

7. 刀剣文化振興の助成事業

当協会の協力団体は3月末日現在国内に78団体、海外に7団体設立されており、全国及び海外の刀剣普及活動の拠点となっています。

〈国内78団体〉

日刀保根室支部 日刀保帯広支部 日刀保札幌支部 日刀保旭川支部
日刀保青森県支部 日刀保八戸支部 日刀保岩手県支部
日刀保秋田県支部 日刀保庄内支部 日刀保山形支部 日刀保米沢支部
日刀保宮城県支部 日刀保会津支部 日刀保福島県南支部
日刀保いわき支部 日刀保福島支部 新誠会 日刀保高崎支部
日刀保茨城県支部 土浦亀城刀剣会 日刀保栃木県支部
埼玉県刀剣保存協議会 日刀保千葉県東部支部 日刀保千葉県支部
日刀保東京都支部 日刀保東京多摩支部 日刀保横浜支部 鎌倉刀剣会
日刀保湘南支部 日刀保山梨県支部 日刀保新潟支部 日刀保長岡支部
日刀保富山県支部 越前愛刀会 日刀保石川県支部 日刀保若狭支部
日刀保福井支部 日刀保長野県南支部 日刀保長野県北支部
日刀保長野県東信支部 日刀保静岡岡支部 日刀保静岡東部支部
日刀保三河支部 日刀保名古屋支部 日刀保岐阜県支部
日刀保三重県支部 日刀保京都府支部 日刀保大阪支部
日刀保兵庫県支部 姫路しらさぎ刀剣会 日刀保奈良県支部
日刀保和歌山県支部 日刀保岡山県支部 日刀保山口県支部
広島県美術刀剣保存協会 日刀保島根県支部 島根県美術刀剣保存研究会
日刀保鳥取県支部 日刀保香川県支部 日刀保四国讃岐支部
日刀保香川県西支部 日刀保愛媛県支部 日刀保高知県支部
日刀保北九州支部 日刀保八幡支部 日刀保博多支部
福岡美術刀剣振興会 日刀保筑後支部 日刀保熊本県支部
日刀保宮崎支部 日刀保延岡支部 日刀保長崎支部 日刀保佐賀県支部
葉隠刀友会 日刀保大分支部 日刀保鹿児島県支部 薩摩刀栄会
e-刀剣研究会

〈海外7団体〉

ヨーロッパ支部 アメリカ支部 ロシア支部 イタリア支部 台湾支部

ポーランド支部 オーストラリア支部

(1) 協力団体で開催する鑑賞会へ講師の派遣及び鑑賞刀剣の貸与

1の(2)鑑賞会事業参照。

(2) 協力団体で開催する鑑賞会へ鑑賞刀剣のみの貸与

令和7年度は19件。

(3) 協力団体で主催する刀剣類の展示会の助成及び共催

大阪支部「関西万博 日本刀展」

II 管理部門

1. 会員の状況 27ページ表3の通り。

令和8年4月1日以降の新入会者は119名。

今後とも会員獲得に努めてまいります。

2. 職員に関する事項

職員数計27名 男子18名 女子9名(前期末比±0)

平均年齢 男子52歳 女子41歳

3. 役員会等に関する事項

(1) 令和7年度第1回理事会

日時 令和7年6月9日(月)午後1時30分から2時50分

議題 1 令和6年度事業報告及び決算(計算書類等及び財産目録)につ

いて

2 定時評議員会の招集について

3 規程の改正について

(2) 令和7年度定時評議員会

日時 令和7年6月27日(金)午後1時30分から2時15分

議題 1 令和6年度事業報告及び決算(計算書類等及び財産目録)について

2 理事の選任について

(3) 令和7年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和7年6月27日(金)

議題 1 会長、専務理事及び常務理事の選定並びに職務代行順位の決定について

2 基本財産への繰り入れについて

(4) 令和7年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和7年7月25日(金)

議題 1 基本財産への繰り入れについて

2 無鑑査の選任について

(5) 令和7年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和7年9月8日(月)

議題 1 常務理事の選定及び職務代行順位の決定について

(6) 令和7年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和7年10月20日(月)

議題 1 決議の省略による評議員会の招集について

(7) 令和7年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和7年11月6日(木)

議題 1 臨時評議員会の招集について

(8) 令和7年度臨時評議員会

日時 令和7年11月20日(木)午後1時30分から2時30分

議題 1 理事の選任について

(9) 令和7年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和7年12月10日(木)

議題 1 基本財産への繰り入れについて

2 就業規則の改正について

(10) 令和7年度第2回理事会

日時 令和8年3月23日(月)午後1時30分から3時00分

議題 1 令和8年度事業計画及び予算(資金調達及び設備投資の見込みを含む)等について

2 基本財産への繰り入れについて

3 令和8年度審査員の選任について

4 現代刀職展運営委員会委員の選任について

5 刀剣博物館資料収集委員会委員の選任について

6 役員賠償責任保険について
7 給与規程の改正について

Ⅲ 運営体制の充実をはかるための取組

(1) 外部理事・外部監事については、法人外部からの多様な視点を取り入れ、理事と監事がその機能を発揮できるよう公益認定基準を上回る人数を選任し、運営の適正性と透明性を図っています。

(2) 理事会・評議員会においては、議案毎に質疑応答の時間を設け、意見表明の場とともに表決の判断に資する機会としております。また、欠席した理事・評議員には議事録の写し及び資料を配布することを各運営規則に定め情報提供の公平性を確保しております。

Ⅳ その他

(1) 外部文化団体等からの出陳要請により協会所蔵文化財のほか、玉鋼、砂鉄、たたら製鉄の工程等のパネルを貸与しました。また各文化団体等からの要請により所蔵文化財等の画像を貸与しました。

(2) 刀剣博物館は海外からの関心も高く、また協会主催の研修会に海外在住者の参加希望もあり、そうしたニーズにできる限り柔軟に対応してまいります。

(3) 当協会は昭和23年に東京国立博物館内において設立され、昭和43年2月に代々木の地に会館を建設して移転しました。約半世紀を経過し、建物の老朽化が激しく、東京都墨田区旧安田庭園内両国公会堂跡地への新築移転計画を進め、墨田区をはじめとする関係各所との協議・検討を経て、平成28年7月に工事着工、平成29年8月に竣工し、刀剣博物館は平成30年1月19日より開館しました。令和6年12月25日には文化庁長官から公開承認施設に承認されております。また、墨田区とは移転時から友好関係を構築し、合同企画の実施等連携強化を図っています。

令和7年度事業報告には、定款第11条に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しておりません。

令和8年6月

表 1

展示名	期間	一般	会員	招待	学生	中学生 以下	団体他	東京バス 利用者	計(人)
水心子正秀 没後 二〇〇年記念 江戸三作〈正秀・直 胤・清麿〉展	4.1～ 5.11※1	12,225	170	625	1,278	746	20	44	15,108
日本刀 美の表現と 薩摩金工の精髓	5.24～ 7.21	8,963	144	422	1,199	922	94	48	11,792
2025年度現代刀職 展 今に伝わるいに しえの技	8.2～ 10.13	9,492	146	436	877	1,094	143	－ ※3	12,188
受贈記念 受け継が れる日本刀 -鈴木莊一コレクシ ョンを中心にして-	10.25～ 12.21	7,400	199	434	514	658	46	－	9,251
第71回重要刀剣等 新指定展	1.10～ 3.1	5,890	129	381	567	1,107	94	－	8,168
日本刀 重要美術品展	3.14～ 3.31※2	2,400	60	111	256	269	0	－	3,096
合計		46,370	848	2,409	4,691	4,796	397	92	59,603

(うち 外国人22,323人)

※1 会期は令和7年3月8日から令和7年5月11日まで。

※2 会期は令和8年3月14日から令和8年5月24日まで。

※3 令和7年6月30日付で終了。

表 2

部 門	出品数	特賞	優秀賞	努力賞	入選
作 刀	4 1 点	8 点	3 点	8 点	2 2 点
研 磨	8 3 点	1 1 点	8 点	1 4 点	4 2 点
刀 身 彫	4 点	2 点	0 点	2 点	0 点
彫 金	1 6 点	2 点	1 点	4 点	7 点
白 鞘	1 2 点	1 点	3 点	2 点	5 点
刀 装	3 点	1 点	0 点	1 点	1 点
柄 前	1 7 点	1 点	2 点	5 点	7 点
白 銀	1 0 点	0 点	0 点	3 点	7 点
合 計	1 8 6 点	2 6 点	1 7 点	3 9 点	9 1 点

研磨の部で8点、彫金の部で2点、白鞘の部で1点、柄前の部で2点それぞれ落選となりました。

表 3

	国 内					海 外		計
会員種別	普通会員	学生会員	維持会員	優遇会員	終身会員	普通会員	終身会員	
令和8年3月31日	3,239人	24人	4人	3人	63人	293人	16人	3,642人
昨年度比	-71人	+1人	+1人	-1人	-2人	+31人	+1人	-40人

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当期末	前年度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	406,445,859	583,622,453	△ 177,176,594
未 収 金	52,818,253	34,707,267	18,110,986
販 売 用 書	23,537,363	22,607,473	929,890
製 品	93,584,618	96,128,713	△ 2,544,095
原 材 料	8,568,080	7,839,698	728,382
前 払 金	84,484	84,484	0
前 払 費 用	2,994,748	3,871,252	△ 876,504
流 動 資 産 合 計	588,033,405	748,861,340	△ 160,827,935
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
建 物	852,409,322	873,032,128	△ 20,622,806
預 算 有 価 証 券	357,548,307	357,666,486	△ 118,179
投 資 及 び 小 道 具	198,766,950	198,682,426	84,524
刀 剣 及 び 小 道 具	1,433,260,000	1,289,650,000	143,610,000
基 本 財 産 合 計	2,841,984,579	2,719,031,040	122,953,539
(2) 特 定 資 産			
預 算 資 産	119,476,655	119,476,655	0
退 職 給 付 引 当 資 産	47,729,338	41,467,775	6,261,563
刀 剣 学 奨 学 積 立 資 産	4,863,763	4,863,763	0
新 刀 剣 博 物 館 建 設 積 立 資 産	0	0	0
資 料 購 入 資 産	399,800,000	195,000,000	204,800,000
建 物 付 属 設 備 改 修 資 産	260,221,001	200,294,667	59,926,334
特 定 資 産 合 計	832,090,757	561,102,860	270,987,897
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 付 属 設 備	4,261,257	4,914,441	△ 653,184
建 築 物	247,620,903	298,843,924	△ 51,223,021
機 械 装 置	70,656,816	76,798,824	△ 6,142,008
什 器 備 品	2,694,507	3,557,966	△ 863,459
土 地	15,956,886	17,972,114	△ 2,015,228
保 証 地 金	300,000	300,000	0
刀 剣 及 び 小 道 具	70,000	70,000	0
研 修 用 教 材	168,747,824	168,747,824	0
絵 画	13,890,000	15,367,000	△ 1,477,000
図 書 及 び 押 型	10,114,118	10,114,118	0
ソ フ ト ウ ェ ア	8,960,000	8,960,000	0
そ の 他 固 定 資 産	14,733,524	34,345,221	△ 19,611,697
そ の 他 固 定 資 産 合 計	0	2	△ 2
そ の 他 固 定 資 産 合 計	558,005,835	639,991,434	△ 81,985,599
固 定 資 産 合 計	4,232,081,171	3,920,125,334	311,955,837
資 産 合 計	4,820,114,576	4,668,986,674	151,127,902
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	59,651,121	65,810,881	△ 6,159,760
前 受 金	107,449,860	77,695,560	29,754,300
預 り 金	4,349,440	4,461,581	△ 112,141
仮 受 金	327,440	757,700	△ 430,260
賞 与 引 当 金	15,089,246	11,104,329	3,984,917
未 払 消 費 税	4,901,100	9,104,600	△ 4,203,500
流 動 負 債 合 計	191,768,207	168,934,651	22,833,556
2. 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	47,729,338	41,467,775	6,261,563
固 定 負 債 合 計	47,729,338	41,467,775	6,261,563
負 債 合 計	239,497,545	210,402,426	29,095,119
III. 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
国 庫 補 助 金	70,662	131,235	△ 60,573
寄 附 金	45,026,353	55,528,798	△ 10,502,445
受 贈 固 定 資 産	697,810,000	569,400,000	128,410,000
指 定 正 味 財 産 合 計	742,907,015	625,060,033	117,846,982
(うち基本財産への充当額)	(742,907,015)	(625,060,033)	(117,846,982)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	(3,837,710,016)	(3,833,524,215)	(4,185,801)
(うち特定資産への充当額)	(2,099,077,564)	(2,106,260,407)	(△ 7,182,843)
(うち特定資産への充当額)	(784,361,419)	(519,635,085)	(264,726,334)
正 味 財 産 合 計	4,580,617,031	4,458,584,248	122,032,783
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	4,820,114,576	4,668,986,674	151,127,902

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,875,033	1,522,645	352,388
基本財産利息収益	1,875,033	1,522,645	352,388
特定資産運用益	299,594	142,246	157,348
特定資産受取利息	299,594	142,246	157,348
受取会費及び入会金	38,774,660	39,066,520	△ 291,860
会費及び入会金	38,774,660	39,066,520	△ 291,860
事業収益	535,906,347	510,751,826	25,154,521
刀剣博物館入館料収益	50,343,200	46,820,700	3,522,500
保存刀剣等鑑定会受取会費	312,749,220	288,619,100	24,130,120
重要刀剣等指定会受取会費	46,822,440	57,034,400	△ 10,211,960
鑑賞会受取会費	3,400,600	2,817,200	583,400
書籍売上高	19,918,170	15,964,344	3,953,826
出版売上高	9,356,362	6,699,557	2,656,805
広告料収益	12,334,300	15,559,500	△ 3,225,200
伝位登録料収益	92,000	428,000	△ 336,000
たたら事業収益	80,890,055	76,809,025	4,081,030
全国大会収益	0	0	0
受取補助金等	4,710,573	4,735,966	△ 25,393
受取国庫補助金	4,650,000	4,650,000	0
受取国庫補助金振替額	60,573	85,966	△ 25,393
受取寄付金	10,678,087	10,981,149	△ 303,062
一般寄付金	101,000	700,000	△ 599,000
募金箱収益	74,642	36,859	37,783
受取寄付金振替額	10,502,445	10,244,290	258,155
雑収	4,407,335	2,070,803	2,336,532
受取利息	491,342	155,430	335,912
為替差益	6,000	0	6,000
雑収益	3,909,993	1,915,373	1,994,620
諸引当金戻入	11,104,329	8,002,164	3,102,165
賞与引当金戻入	11,104,329	8,002,164	3,102,165
経常収益計	607,755,958	577,273,319	30,482,639
(2) 経常費用			
事業費	572,126,813	519,643,363	52,483,450
役員報酬	3,024,000	3,102,400	△ 78,400
給料手当	141,981,438	135,896,480	6,084,958
福利厚生費	20,301,156	21,984,132	△ 1,682,976
賃金	25,344,005	24,531,858	812,147
旅費交通費	5,540,365	5,980,697	△ 440,332
通信搬費	12,366,624	11,401,073	965,551
消耗品費	8,516,641	2,479,951	6,036,690
印刷製本費	28,695,825	24,039,970	4,655,855
光熱水料費	9,882,752	10,071,229	△ 188,477
修繕費	19,264,185	14,779,822	4,484,363
貸借料	29,354,531	29,024,756	329,775
租税公課	27,793,240	30,384,900	△ 2,591,660
助成費	5,406,440	5,686,000	△ 279,560
支払保険料	2,783,259	3,396,967	△ 613,708
書籍仕入費	14,245,082	11,717,095	2,527,987
書玉材料費	16,296,618	10,754,606	5,542,012
支払負担金	131,307	147,867	△ 16,560
委託費	73,042,317	51,814,207	21,228,110
広告宣伝費	11,215,894	9,528,296	1,687,598
支払寄付	300,000	300,000	0
渉外費	1,064,071	1,274,887	△ 210,816
雑費	8,436,724	6,836,031	1,600,693
減価償却費	96,983,374	100,800,551	△ 3,817,177
退職給付費用	10,156,965	3,709,588	6,447,377

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管 理 費	31,773,344	29,044,128	2,729,216
役 員 報 酬	3,656,000	3,477,600	178,400
給 料 手 当	2,897,580	2,773,397	124,183
福 利 厚 生 費	1,068,482	1,157,060	△ 88,578
旅 費 交 通 費	2,333,066	2,441,403	△ 108,337
通 信 運 搬 費	650,875	600,057	50,818
消 耗 品 費	740,578	215,648	524,930
光 熱 水 料 費	859,370	875,759	△ 16,389
修 繕 繕 料	1,675,146	1,285,202	389,944
賃 借 料	2,209,481	2,015,588	193,893
支 払 保 険 料	530,145	647,041	△ 116,896
顧 問 料	7,620,360	6,072,000	1,548,360
支 払 負 担 金	58,993	66,433	△ 7,440
渉 外 費	217,942	261,122	△ 43,180
雑 費	172,178	139,511	32,667
減 価 償 却 費	6,548,451	6,821,065	△ 272,614
退 職 給 付 費	534,577	195,242	339,335
会 議 費	120	0	120
経 常 費 用 計	603,900,157	548,687,491	55,212,666
当 期 経 常 増 減 額	3,855,801	28,585,828	△ 24,730,027
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
固 定 資 産 受 贈 益	330,000	0	330,000
経 常 外 収 益 計	330,000	0	330,000
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	330,000	0	330,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	4,185,801	28,585,828	△ 24,400,027
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	3,833,524,215	3,804,938,387	28,585,828
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	3,837,710,016	3,833,524,215	4,185,801
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
固 定 資 産 受 贈 益	128,410,000	389,200,000	△ 260,790,000
一 般 正 味 財 産 振 替	△ 10,563,018	△ 10,330,256	△ 232,762
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	117,846,982	378,869,744	△ 261,022,762
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	625,060,033	246,190,289	378,869,744
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	742,907,015	625,060,033	117,846,982
III 正 味 財 産 期 末 残 高	4,580,617,031	4,458,584,248	122,032,783

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金として	3,606,570
	普通預金	みずほ銀行 新宿新都心支店	運転資金として	186,609,846
		三井住友信託銀行 新宿支店	運転資金として	720,668
		東京東信用金庫 両国支店	運転資金として	25,060,118
		荘内銀行 東京支店	運転資金として	6,440
		大和ネクスト銀行	運転資金として	413
	郵便貯金	代々木郵便局振替口座	運転資金として	190,441,804
	未収金			52,818,253
			審査事業における審査料	(46,682,680)
			広告料	(271,700)
		(株)リクルートペイメント	商品売上 クレジット利用分	(296,261)
		(株)Square	審査料 クレジット利用分	(5,465,850)
		ローソンエンタテイメント	博物館入館料	(13,780)
		八洋ほか	自販機手数料ほか	(87,982)
	前払金	N T T 東日本	通話料金の前払い分	84,484
	前払費用	あいおいニッセイ同和損害保険	奥出雲保険料(R7年4月～R11年9月)	2,994,748
	販売用書籍	「入札鑑定同然帳」他	出版書籍の在庫である。	23,537,363
	製品	島根県仁多郡奥出雲町	玉鋼の在庫である。	93,584,618
	原材料	島根県仁多郡奥出雲町	玉鋼の材料の在庫である。	8,568,080
流 動 資 産 合 計				588,033,405
(固定資産) 基本財産	建物	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	852,409,322
	普通預金	荘内銀行 東京支店		100,000,000
		三井住友信託銀行新宿支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	238,306,198
	定期預金	東京東信用金庫両国支店		19,242,109
	投資有価証券	第177回国債 (20年)		99,649,700
		第181回国債 (20年)		99,117,250
	刀剣及び小道具	日本刀 他	公益目的保有財産であり、協会の事業の用に供している不可欠特定財産である。	1,433,260,000
基 本 財 産 合 計				2,841,984,579

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額 (単位：円)	
特定資産	預金	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金三井住友信託銀行新宿支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	109,476,655 10,000,000	
	退職給付引当資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金東京東信用金庫両国支店	職員11名に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。	27,729,338 20,000,000	
	刀剣学奨学積立資産	定期預金荘内銀行東京支店	刀剣類の優れた研究者の育成及び助成を目的とする積立資産である。	4,863,763	
	新刀剣博物館建設資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店	刀剣博物館建設事業の寄付金である。	0	
	資料購入資産	定期預金東京東信用金庫両国支店	博物館での展示、鑑賞会、研究その他に活用する資料を取得するための資産である。	399,800,000	
	建物付属設備改修資産	普通預金三菱UFJ銀行本所支店 定期預金東京東信用金庫両国支店 第169回国債（5年）	建物付属設備の再調達資金の積立である。	150,000,000 60,000,000 50,221,001	
	特 定 資 産 合 計			832,090,757	
	その他の固定資産	建物	島根県仁多郡奥出雲町	（供用財産） うち、公益目的保有財産99.4％ うち、管理目的の財源として使用する財産0.6％	4,261,257
		建物付属設備	東京都墨田区横網1-12-9	（供用財産） うち、公益目的保有財産94％ うち、管理目的の財源として使用する財産6％	247,620,903
		構築物	東京都墨田区横網1-12-9	（供用財産） うち、公益目的保有財産92％ うち、管理目的の財源として使用する財産8％	70,656,816
機械装置		島根県仁多郡奥出雲町 東京都墨田区横網1-12-9	公益目的保有財産である。	2,694,507	
什器備品		東京都墨田区横網1-12-9	（供用財産） うち、公益目的保有財産92％ うち、管理目的の財源として使用する財産8％	15,956,886 0	
その他固定資産		東京都墨田区横網1-12-9			
土地		長野県上田市		300,000	
保証金		(株)セコム	セキュリティシステム等の保証金として預けているものである。	70,000	
刀剣及び小道具		東京都墨田区横網1-12-9 日本刀 他	公益目的保有財産である。	168,747,824	
研修用教材		東京都墨田区横網1-12-9 刀剣及び小道具	公益目的保有財産である。	13,890,000	
絵画		東京都墨田区横網1-12-9 日本画 他	公益目的保有財産である。	10,114,118	
図書及び押型		東京都墨田区横網1-12-9 網屋押型 他	公益目的保有財産である。	8,960,000	
ソフトウェア		東京都墨田区横網1-12-9	（供用財産） うち、公益目的保有財産95％ うち、管理目的の財源として使用する財産5％	14,733,524	
そ の 他 固 定 資 産 合 計			558,005,835		
固 定 資 産 合 計				4,232,081,171	
資 産 合 計				4,820,114,576	

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	(株) 目の眼 他	博物館事業における書籍等仕入、委託費等	59,651,121
	未払消費税	本所税務署	消費税確定	4,901,100
	前受金	個人会員 他	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する会費等	107,449,860
	預り金			4,349,440
		職員他	社会保険料	(1,181,987)
			源泉所得税	(564,908)
			住民税	(322,100)
		支部ほか	鑑賞会費用等	(921,969)
		支部	能登半島地震義援金	(1,358,476)
	仮受金		二重払い他	327,440
	賞与引当金	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	15,089,246
流 動 負 債 合 計				191,768,207
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員11名に対する退職金の支払いに備えたものである。	47,729,338
固 定 負 債 合 計				47,729,338
負 債 合 計				239,497,545
正 味 財 産				4,580,617,031

監 査 報 告 書

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
会 長 酒 井 忠 久 殿

令和8年6月1日

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

監 事 大久保 洋吉

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

監 事 戸澤 重俊

公益財団法人日本美術刀剣保存協会における令和7年4月1日から令和8年3月31日までの監査の方法及び結果について、次のとおり報告いたします

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事会などの会議に出席し、理事及び担当者からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等及び会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、計算書類（貸借対照表・正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令及び公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に従い、法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に違反する事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正確に示しているものと認めます。

以上